

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 毎年3月31日
そのほか必要ある場合には、あらかじめ
公告いたします。

定時株主総会 毎年6月下旬

期末配当金
支払株主確定日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081

(電話お問合せ)
(郵便物送付先) 東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由に
より、電子公告をすることができない場
合は、日本経済新聞に掲載いたします。
(公告掲載アドレス)

<http://www.kadoya.com>

上場取引所 大阪証券取引所 ジャスダック市場

証券コード 2612

株主ご優待 100株以上の株主に対して、年1回自社
製品を贈呈 (5月下旬頃)

かどや

第53期株主通信

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

 **かどや製油株式会社**

本社 〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03(3492)-5545 FAX03(3492)-5985

<http://www.kadoya.com>

 **かどや製油株式会社**

この株主通信は、再生紙及び環境に優し
い大豆油インキを使用しております。

ごまセサミン
3粒あたり
セサミン
15mg



原寸大

栄養補助食品

2010年7月
発売予定



ごま油の「かどや」から
ごまセサミン

通販限定

*90粒入り、270粒入りの2種類がございます。

「ごまセサミン」、新発売！
かどやに、新たな主役登場！

満を持して、ついに発売！

いま、たいへんなブームを生み出している、セサミン。ごまにしか含まれていない希少な成分という神秘性と、押し寄せてきた健康ブームにのり、注目を集めています。そしてついに、ごまの専業メーカーであるかどや製油が、満を持して「ごまセサミン」を新発売。健康志向の高い方々をメインターゲットとし、まだまだ潜在的な余力を持つ市場に参入。かどや製油の、新たな主力商品となることが、期待されています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、当社はこのたび、第53期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の決算を終了致しましたので、ここに当期の株主通信をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役社長 小澤 二郎

小豆島工場 新高速汎用ライン竣工



昨年12月、小豆島工場に新充填工場が竣工しました。主力の家庭用ごま油を生産するラインを新設し、200グラム容器については日産7,000ケース（14万本）の生産が可能となりました。これからも常に消費者の皆様の安全・安心を心がけて製品を生産してまいります。

コラボレーション商品



小さなばかうけ揚げ ごま油仕立て

株式会社栗山米菓とのコラボレーション商品です。純正ごま油を使用し、風味豊かに仕上げた揚げせんべいです。コンビニ販売のほか、株式会社栗山米菓でのオンラインショップでも販売中です。（2010年3月発売）



純正ごま油200グラム 阪神タイガース 応援商品

阪神タイガース優勝祈願、及び寅年をテーマに、純正ごま油200グラム「阪神タイガースラベル」を期間限定、数量限定、地域限定（関西）として発売致します。香ばしいごまの風味が和食・中華・焼肉と様々なジャンルの料理にお使いいただけます。（2010年6月発売）

新製品 ごまセサミン（7月発売予定）



商品イメージ図

古来、健康食や美容食としても珍重されてきたごま。そのごま1粒に、ほんの微量しか含まれていないゴマリグナンの一種がセサミンです。かどやはそのセサミンを独自の製法で抽出し、ぎゅっと濃縮。こうして誕生したのがカプセルタイプの栄養補助食品、かどやの「ごまセサミン」です。100%自社で選び抜いた原料のみを使用しているのでもって安心です。

テレビCMオンエア



昨年に続き今年も、全国22のテレビ局で当社CMを放送しました（平成22年1～2月、左2枚：「料理をする子供たち篇」、右2枚：「キッチンダンス篇」）。また、今年7月～8月に新作CMを公開する予定です。

株主優待

日頃の感謝を込めて、毎年3月31日現在100株以上お持ちの株主様へ、「ごま製品詰め合せセット」を贈呈しております。（年1回、5月下旬頃）

昨年に続き、小豆島の地産：銀四郎麺業株式会社の手延べそうめんなど、小豆島ならではの特産品を含めた特製セットをお届けしました。

ご家族やご友人の皆様でお試しいただけましたら幸いです。



（100株以上の贈答品例）

（1,000株以上の贈答品例）

事業の概況

1. 事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、下期からは景気は上向きに転ずるとの見方があったものの、前期来の世界的な景気後退による外需の落ち込みや円高が続く中、設備投資の減退、雇用不安、消費の低迷などの厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、景気デフレ下消費者の節約志向、買い控え等の動きが一層広がっており、依然として需要の顕著な回復は見られません。

このような状況下、当社はドルベース原料価格の変動に対し、漸次販売価格の是正を行っており、原料価格の高騰から大幅な製品価格値上げとなったことで大きく数量を落とした前期に比べ、ごま油の販売量が6.0%増となり、売上高は全体で0.4%増となりました。

コスト面では、前期高騰した燃料費が落ち着きを取り戻したことから製造経費は前期比減少、為替が円高に振れたことと原料購入価格が前期比低下したこと等から払出単価が

前期を下回ったこと等により、売上原価は9.5%減となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量を確保するためにテレビコマーシャルを始め販促費が増加したことにより、前期比12.0%増加となりましたが、引続き厳正なコスト管理を行いました。

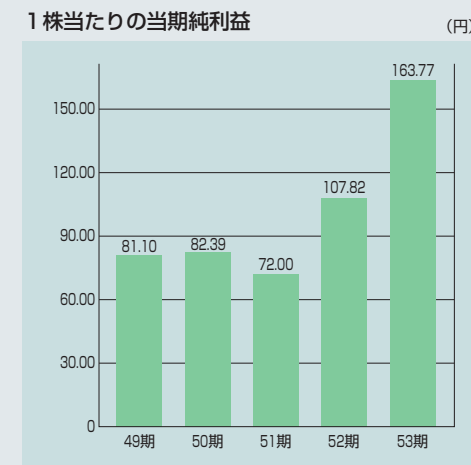
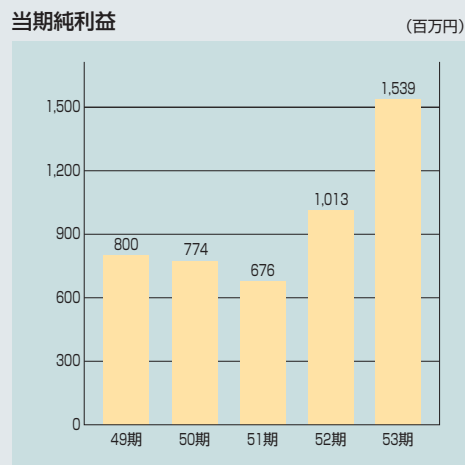
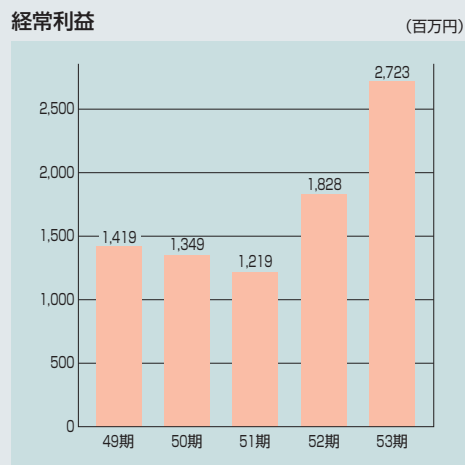
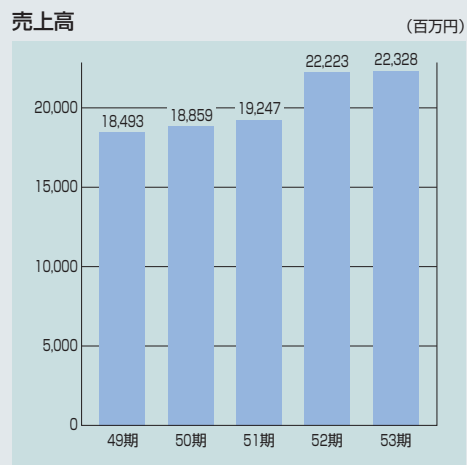
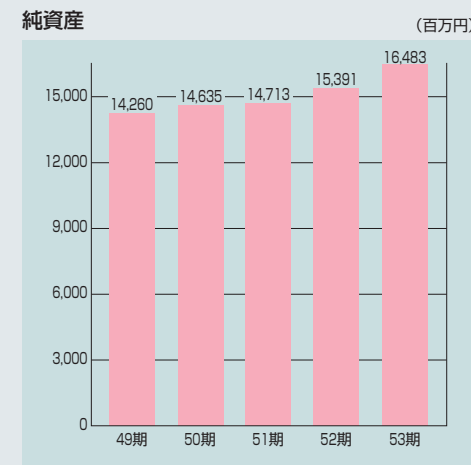
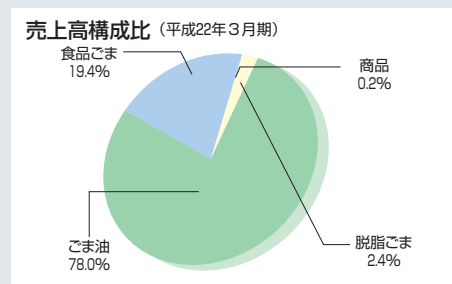
この結果、売上高は、22,328百万円（前期比105百万円増）、経常利益は2,723百万円（前期比894百万円増）、当期純利益は1,539百万円（前期比525百万円増）となりました。

2. 会社が対処すべき課題

当社は、ごまのトップメーカーとしての地歩を築いておりますが、食品業界の経営環境は厳しく、原料価格の不安定さ、少子高齢化による国内需要の減退、安全性確保や環境保護等の課題に対して以下の通り取り組んでまいります。

- ① コスト削減と、コストに見合った価格の実現
- ② 国内市場では量から質への転換、海外市場での需要の拡大
- ③ 今後のごま需要の動向を見据えた上での生産体制の推進
- ④ 品質管理の徹底による安心・安全の更なる追求、研究開発の推進
- ⑤ コンプライアンス体制の強化と内部統制システムの構築によるCSR（企業の社会的責任）の向上

当社は、これらの施策により、経営環境の変化に即応できる経営基盤・体質の強化を一層進めてまいります。



貸借対照表(平成22年3月31日現在)

(単位：百万円)

| (資産の部) | | (負債の部) | |
|-------------|---------------|-----------------|---------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流動資産 | 14,475 | 流動負債 | 4,307 |
| | | 固定負債 | 699 |
| | | 負債合計 | 5,007 |
| 固定資産 | 7,015 | (純資産の部) | |
| | | 株主資本 | 16,414 |
| 有形固定資産 | 5,492 | 資本金 | 2,160 |
| | | 資本剰余金 | 3,082 |
| 無形固定資産 | 33 | 利益剰余金 | 11,171 |
| | | 評価・換算差額等 | 69 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 41 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | 27 |
| 投資その他の資産 | 1,490 | 純資産合計 | 16,483 |
| 資産合計 | 21,490 | 負債・純資産合計 | 21,490 |

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

損益計算書(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|--------------|--------|
| 売上高 | 22,328 |
| 売上原価 | 13,460 |
| 売上総利益 | 8,867 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,165 |
| 営業利益 | 2,702 |
| 営業外収益 | 56 |
| 営業外費用 | 34 |
| 経常利益 | 2,723 |
| 特別利益 | 1 |
| 特別損失 | 52 |
| 税引前当期純利益 | 2,672 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,158 |
| 法人税等調整額 | △25 |
| 当期純利益 | 1,539 |

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

株主資本等変動計算書(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位：百万円)

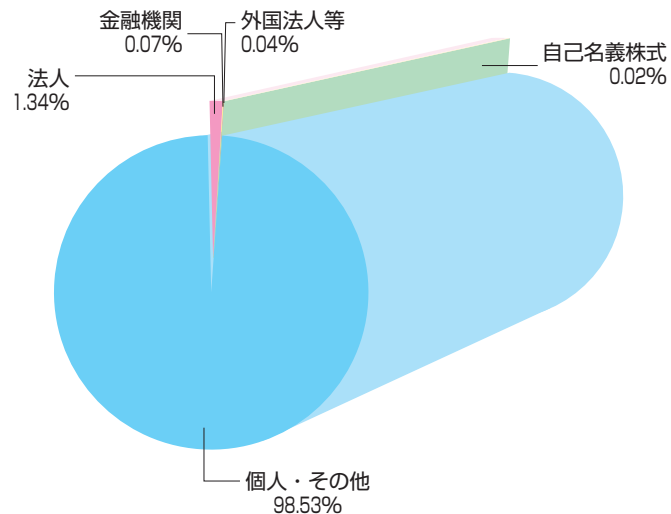
| 株主資本 | | 自己株式 | |
|----------|--------|---------------------|--------|
| 資本金 | | 前期末残高 | △0 |
| 前期末残高 | 2,160 | 当期変動額 | |
| 当期変動額 | | 自己株式の取得 | — |
| 当期変動額合計 | — | 当期変動額合計 | — |
| 当期末残高 | 2,160 | 当期末残高 | △0 |
| 資本剰余金 | | 株主資本合計 | |
| 資本準備金 | | 前期末残高 | 15,344 |
| 前期末残高 | 3,082 | 当期変動額 | |
| 当期変動額 | | 剰余金の配当 | △469 |
| 当期変動額合計 | — | 当期純利益 | 1,539 |
| 当期末残高 | 3,082 | 自己株式の取得 | — |
| 資本剰余金合計 | | 当期変動額合計 | 1,069 |
| 前期末残高 | 3,082 | 当期末残高 | 16,414 |
| 当期変動額 | | 評価・換算差額等 | |
| 当期変動額合計 | — | その他の有価証券評価差額金 | |
| 当期末残高 | 3,082 | 前期末残高 | 25 |
| 利益剰余金 | | 当期変動額 | |
| 利益準備金 | | 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 16 |
| 前期末残高 | 250 | 当期変動額合計 | 16 |
| 当期変動額 | | 当期末残高 | 41 |
| 当期変動額合計 | — | 繰延ヘッジ損益 | |
| 当期末残高 | 250 | 前期末残高 | 21 |
| その他利益剰余金 | | 当期変動額 | |
| 別途積立金 | | 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 5 |
| 前期末残高 | 8,040 | 当期変動額合計 | 5 |
| 当期変動額 | | 当期末残高 | 27 |
| 別途積立金の積立 | 300 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期変動額合計 | 300 | 前期末残高 | 46 |
| 当期末残高 | 8,340 | 当期変動額 | |
| 繰越利益剰余金 | | 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 22 |
| 前期末残高 | 1,811 | 当期変動額合計 | 22 |
| 当期変動額 | | 当期末残高 | 69 |
| 別途積立金の積立 | △300 | 純資産合計 | |
| 剰余金の配当 | △469 | 前期末残高 | 15,391 |
| 当期純利益 | 1,539 | 当期変動額 | |
| 当期変動額合計 | 769 | 剰余金の配当 | △469 |
| 当期末残高 | 2,581 | 当期純利益 | 1,539 |
| 利益剰余金合計 | | 自己株式の取得 | — |
| 前期末残高 | 10,102 | 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 22 |
| 当期変動額 | | 当期変動額合計 | 1,091 |
| 別途積立金の積立 | — | 当期末残高 | 16,483 |
| 剰余金の配当 | △469 | | |
| 当期純利益 | 1,539 | | |
| 当期変動額合計 | 1,069 | | |
| 当期末残高 | 11,171 | | |

(注) 百万円未満の端数は切り捨て表示しております。

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

| | |
|-------------|-------------|
| (1)発行可能株式総数 | 16,000,000株 |
| (2)発行済株式の総数 | 9,400,000株 |
| (3)株主数 | 4,687名 |

所有者別状況分布表



大株主 (上位11名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|------------------|-----------|-------|
| | 株 | % |
| 三菱商事株式会社 | 2,575,800 | 27.40 |
| 三井物産株式会社 | 2,100,000 | 22.34 |
| 小澤物産株式会社 | 1,551,000 | 16.50 |
| 伊藤忠商事株式会社 | 300,000 | 3.19 |
| 国分株式会社 | 300,000 | 3.19 |
| 日清食品ホールディングス株式会社 | 300,000 | 3.19 |
| 株式会社J-オイルミルズ | 100,000 | 1.06 |
| 日本山村硝子株式会社 | 100,000 | 1.06 |
| かどや製油従業員持株会 | 83,600 | 0.88 |
| エバラ食品工業株式会社 | 50,000 | 0.53 |
| キューピー株式会社 | 50,000 | 0.53 |

会社概要 (平成22年3月31日現在)

| | |
|------|--|
| 商号 | かどや製油株式会社 (KADOYA SESAME MILLS INCORPORATED) |
| 資本金 | 21億6,000万円 |
| 創業 | 安政5年(西暦1858年) |
| 設立 | 昭和32年5月2日 |
| 営業品目 | <ul style="list-style-type: none"> 印・純正ごま油、純白ごま油、ラー油 印・食品用ごま製品 印・脱脂ごま |
| 従業員数 | 271名 |
| 取引銀行 | みずほ銀行 五反田支店 三井住友銀行 五反田支店 三菱UFJ信託銀行 本店 三菱東京UFJ銀行 五反田支店 |
| 事業所 | 本社/〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目2番8号 電話03(3492)5545 (代表) FAX03(3492)5985 工場/〒761-4101 香川県小豆郡土庄町甲6188 電話0879(62)1133 (代表) FAX0879(62)1135 支店/仙台支店、東京支店、名古屋支店、大阪支店 営業所/札幌営業所、広島営業所、福岡営業所 事業所/神戸事業所 |



役員 (平成22年6月24日現在)

| | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 取締役社長 | 小澤二郎 | 取締役 | 織間弘明 |
| 取締役 | 水戸優彦 | 取締役 | 逸見信彦 |
| 取締役 | 土屋誠 | 常勤監査役 | 山中務 |
| 取締役 | 井藤龍平 | 監査役 | 川上三知男 |
| 取締役 | 佐野雅明 | 監査役 | 伊藤良一 |
| 取締役 | 吉岡努 | 監査役 | 篠原光 |
| 取締役 | 戸倉章博 | 監査役 | 京原裕 |